

きずな

2009年 7月23日

NO 753

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)



国民平和行進団が井原市内を行進

ノーモア広島・長崎、核のない世界訴え

18日土曜日「2009年国民平和大行進」の井原・矢掛の網の目行進団が井原入りしました。行進団は、午前8時45分から井原市役所玄関前で出発集会を行いました。

佐藤井原市教育長、高田市議会議長の激励のあいさつとペナントと募金をいただき、森本ふみお市議が行進団を代表しあいさつをしました。(写真左側)

井原市役所玄関前を発着点とし、午前9時に市役所前を出発しました。(写真右側と上下)

沿道では「ご苦労様です」「頑張ってください」等の声が掛けられました。

約1時間余りで市役所に到着し、冷たいお茶とアイスキャンデーをいただき小休止して、マイカー等で矢掛町に移動し、矢掛町内を行進しました。



井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください。

9月7日(月)が井原市議会9月定例会の開会予定日です。4月の市議選後2回目の市議会になります。引き続き、皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう、奮闘したいと考えています。

皆様の井原市政に対するご意見・ご要望をお近くの党員か下記の電話・FAXにお気軽にお寄せください。

日本共産党後援会事務所
森本ふみお宅

TEL 62-6200
TEL 62-6061

FAX 62-6209
FAX 62-6081

衆議院は21日に解散し、いよいよ総選挙(8月18日公示、30日投・開票)です。日本共産党は国民のみなさまに、次のような訴えをしています。

いよいよ総選挙です。今度の選挙では、自民党・公明党の政権を終わらせる審判をキッパリと下そうではありませんか。日本共産党は、財界・大企業中心、日米軍事同盟絶対の今の政治を厳しく批判してきました。日本共産党を伸ばすことが、自民・公明政権を終わらせ、「大連立」など形を変えて延命することも許さない決定的な審判になります。

そして自民・公明政権に代わる新しい日本の進路に踏み出そうではありませんか。今度の総選挙で問われるのは、自民・公明政権を終わらせたあと、それに代わるどのような新しい政治をつくるのか、21世紀の日本の進むべき道が問われています。民主党は「官僚政治の打破」はいつでも、どのような改革をおこなうのか見えてきません。日本共産党は二つの改革に取り組みます。第1は、財界・大企業中心の政治を転換し、国民のくらしと権利を守るルールある経済社会をつくります。第2は日米軍事同盟絶対の政治をやめ、憲法9条を生かし、自主・自立の平和外交をすすめます。

日本共産党は、新しい国会で建設的野党として、3つの仕事に取り組みます。



第1に、国民の願い実現のため、積極的に問題を提起し、一致点で他党とも協力して、政治を一步でも二歩でも動かすことに力をつくします。労働者派遣法の抜本的改正、お年寄り差別の医療制度の廃止、企業・団体献金の廃止など、政治を前に動かす「推進者」の仕事を果たします。消費税の増税にきっぱりと反対し、大企業へのゆきすぎた減税をやめ、軍事費にメスを入れて、くらしの財源をつくります。

第2に、民主党が表明している危険な政策—消費税の増税、憲法改悪、民意を削る比例代表の定数削減など—民主党がこうした危険な政策を具体化するときには、それを許さない「防波堤」となって力をつくします。

第3に、「国民が主人公」の民主的政権にむけて、国民的共同をすすめていきます。

いま政治を変える絶好のチャンスです。日本のすすむべき道を示し、国民の利益にたって行動する日本共産党が伸びてこそ、国民の願いにかなう新しい日本への道を開く最大の力になるのではないのでしょうか。総選挙は、小選挙区と比例代表の二つの選挙があります。「比例代表は日本共産党」と大きなご支援を心からお願いいたします。